

平成15年度全国都市再生モデル調査

海・港を活用した塩竈再生物語

塩竈ヴェネツィア計画

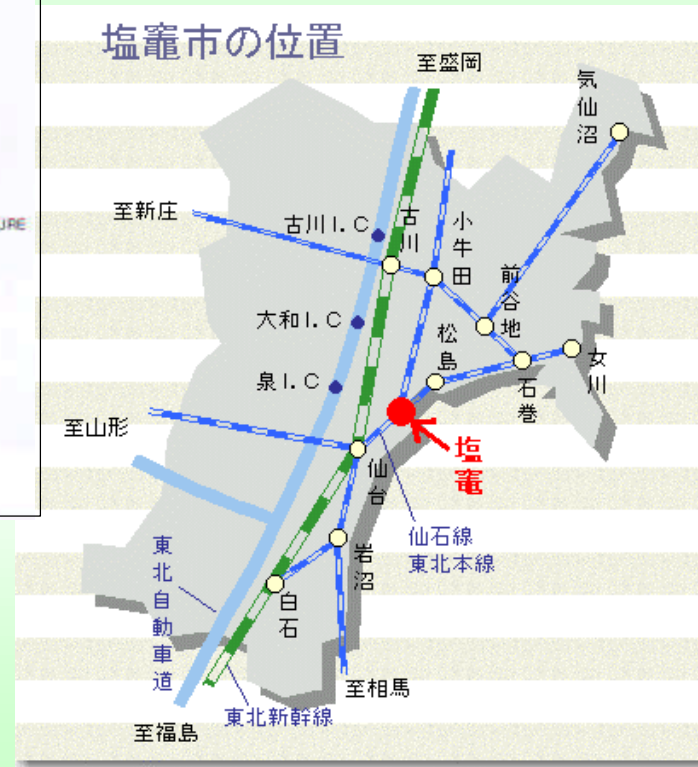
宮城県塩竈市

産業部長 三浦 一 泰

塩竈市はここにある



塩竈市：
 面積 17.85 km²
 人口 60,692人
 (平成16年4月末)



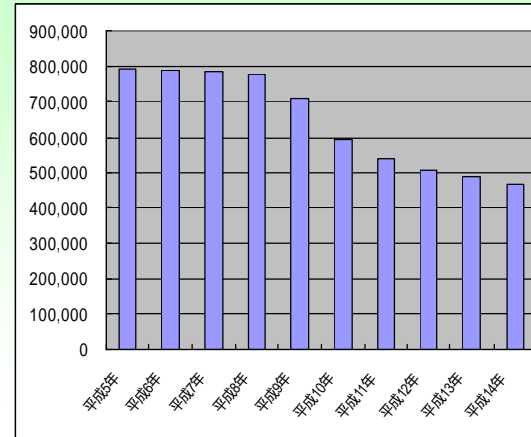
空から見た塩竈市 (港と市街地が一体化しています)

2

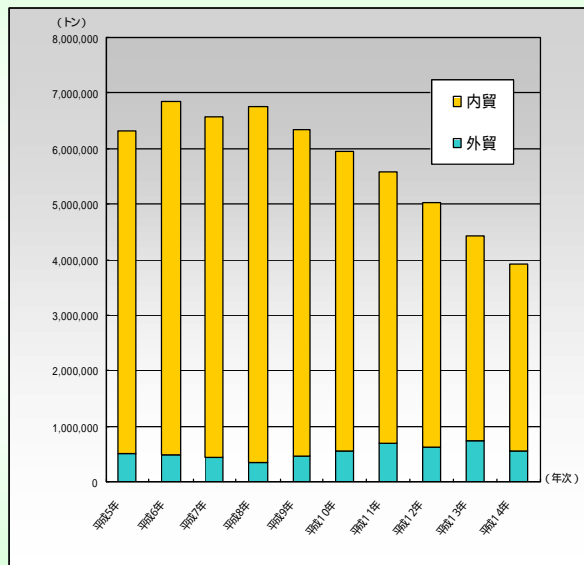


塩釜港の現況

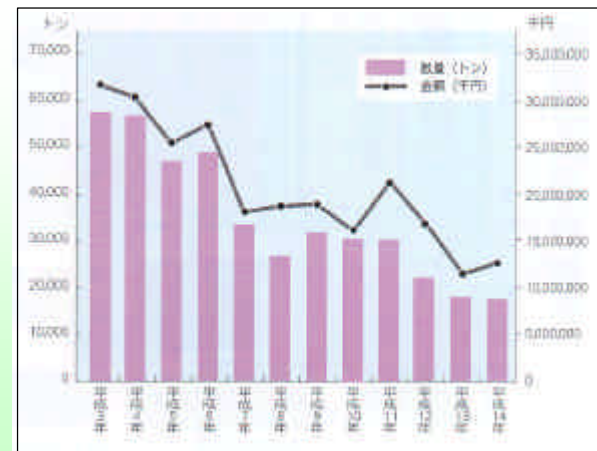
松島湾遊覧船乗降客数



海上出入貨物の推移



魚市場水揚げの推移



「塩竈ヴェネツィア計画」とは



本市は、海・みなとと切っても切り離せないまちです。そして、港奥部周辺にはまちづくりのための様々な資源（鹽竈神社、門前町のたたずまい、マリンゲート塩釜、仲卸市場、浦戸諸島、北浜地区緑地護岸の整備事業、海辺の賑わい地区土地区画整理事業、地酒、お菓子、岩蔵など）があります。

「塩竈ヴェネツィア計画」は、これらの活用方法を、市民の意見等を聞きながら **市民自らが考え、行動する**、ということを中心に、“海・みなと”の視点からまとめました。

本計画で扱った施設や事業計画



港・まちのお宝を探して磨きあげる



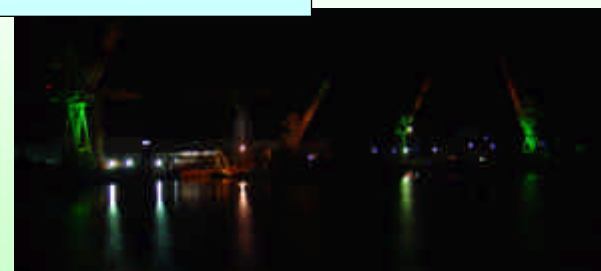
321年の歴史を誇る帆手祭りは、みちのくに春を告げるお祭りとして知られています。そして花祭りなど多くの神事、祭典があります。



浦戸寒沢島日和山山頂に残る方角石としばり地藏。遠く太平洋を見渡せ、方角石は往時の賑いを偲ばせ、縛り地藏は今も縛られています。



市民団体による港のライトアップも行なわれました。



本市に残る蔵も、絵画の展示会や、コンサート、講演会の会場などに利用され、活性化の一翼を担っています。

塩竈ヴェネツィア計画ニュースを発行しました



北浜地区緑地護岸の整備事業のテーマ

『市民が憩い、ふれあい、港に親しむ公園の整備』

- 市民の憩いの場の整備
- 親水空間の整備
- 交流施設整備
- 周辺施設とネットワーク化
- 津波等の防災対策施設の整備

港奥部埋め立て事業のテーマ

『海のまち塩竈のマリンスポーツ拠点整備』

- プレジャーボート基地整備とマリンスポーツ拠点化
- 御座船の展示、交流の場の整備
- 湾内横断橋の整備

港と神社を結ぶ観光ルート of テーマ

『街の魅力の発掘・発信と回遊路線整備』

- 街の魅力の発掘と情報発信
- 回遊路線の整備、魅力スポットの整備
- 観光ルートにふさわしい北浜沢乙線の整備

塩竈ヴェネツィア計画の成果として

全国に誇れる“お宝”を再認識

市民団体による積極的な取り組みを発見

市民による新しい動きの芽生え

港奥部の魅力づくりに向けた市と市民の役割分担を確認

地域が自ら考え自ら行動する塩竈の魅力づくりへの展開

